

天城町教育振興基本計画

「ユイの心」と「郷土愛」を持ち、
世界雄飛と島担う人づくり



令和6年8月
天城町教育委員会

天城町教育振興基本計画とは

教育基本法や天城町教育大綱に基づき、本町の特性や実情に応じた教育振興のための施策に関する基本的な計画です。

この計画では、基本目標に「ユイの心」と「郷土愛」を持ち、世界雄飛と島担う人づくりを掲げ、「知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力」、「伝統と文化を尊重し、互いに認め、高め合い、生涯を通じて幸せや生きがいを感じながら意欲的に自己実現を目指す人間」の育成を目指します。

その実現に向けた今後5年間に取り組む施策として体系化しています。

教育振興基本計画の構成

I 基本目標：「ユイの心」と「郷土愛」を持ち、世界雄飛と島担う人づくり

新たな時代を迎え、「世界雄飛と島担うひとづくり」「活力ある郷土づくり」を目指すために、人と人との絆を大切にする「ユイの心」と島への思いや誇りを大事にする「郷土愛」を育むようにします。

また、子どもから大人まで、ともに成長し、一人ひとりが生かされ、家庭・学校・地域及び各事業所等の主体的な実践と緊密な連携が生まれる環境・人づくりを住民と行政が協働で推進します。

II 基本方針(今後5年間の本町教育の視点)

- (1) 一人ひとりが活躍できる環境づくり、知・徳・体の調和のとれた人づくり
- (2) 「助け合いの精神」と「故郷を愛する心」を持ち、社会の変化にしっかり対応できる人づくり
- (3) 家庭・学校・地域及び事業所等との積極的な連携・協働
- (4) 教育的な伝統や風土を活用した未来への継承

Ⅲ 教育施策の方向性

- (1) お互いに尊重し合いながら故郷を大切にする心を持ち、あしたをひらく豊かな心と健やかでたくましい体を育む教育の推進
- (2) お互いに尊重し合いながら故郷を大切にする心を持ち、未来を切り開くための能力と確かな学力の向上を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進
- (3) 地域全体で子どもたち一人ひとりを守り育てる環境づくりの推進
- (4) 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進
- (5) 郷土の教育的な伝統や世界に誇れる豊かな自然・風土の活用と未来への継承

【教育目標と施策の関連図】

10年後を見据えた教育の姿

I 基本目標：「ユイの心」と「郷土愛」を持ち、世界雄飛と島担うひとづくり

新たな時代を迎え、「世界雄飛と島担うひとづくり」「活力ある郷土づくり」を目指すために、島への思いと人と人との絆を大切にする「ユイの心」と島への思いや誇りを大事にする「郷土愛」を育むようにする。また、子どもから大人まで、ともに成長し、一人ひとりが生かされ、家庭・学校・地域及び各事業所等の主体的な実践と緊密な連携が生まれる環境・人づくりを住民と行政が協働で推進する。

II 基本方針(今後5年間の本町教育の視点)

- (1) 一人ひとりが活躍できる環境づくり、知・徳・体の調和のとれた人づくり
- (2) 「助け合いの精神」と「故郷を愛する心」を持ち、社会の変化にしっかり対応できる人づくり
- (3) 家庭・学校・地域及び事業所等との積極的な連携・協働
- (4) 教育的な伝統や風土を活用した未来への継承

III 教育施策の方向性

(1) お互いに尊重し合いながら故郷を大切にする心を持ち、あしたをひらく豊かな心と健やかでたくましい体を育む教育の推進	(2) お互いに尊重し合いながら故郷を大切にする心を持ち、未来を切り開くための能力と確かな学力の向上を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進	(3) 地域全体で子どもたち一人ひとりを守り育てる環境づくりの推進	(4) 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進	(5) 郷土の教育的な伝統や世界に誇れる豊かな自然・風土の活用と未来への継承
① 道徳教育の充実 ② 生徒指導の充実 ③ 読書活動の推進 ④ 体力・運動能力の向上 ⑤ 健康教育の充実 ⑥ 人権教育の充実 ⑦ 体験活動の推進 ⑧ 食育の推進	① 確かな学力の定着 ② 特別支援教育の充実 ③ キャリア教育の推進 ④ 幼児教育の推進 ⑤ 郷土教育の推進 ⑥ 情報教育の推進 ⑦ 社会の変化に応じた教育の推進	① 生涯学習環境の充実 ② 地域ぐるみで子どもの育成 ③ 家庭の教育力の向上	① 学校経営の充実 ② 開かれた学校づくり	① 文化芸術活動の促進、未来への継承 ② 地域文化の発展、未来への継承 ③ 文化財の発掘・保存・活用・未来への継承 ④ 生涯スポーツの推進 ⑤ 競技スポーツの推進

IV 今後5年間に取り組む施策

- (1) お互い人格を尊重し、あしたをひらく豊かな心と健やかでたくましい体力を育む教育の推進
- (2) 道徳教育や特別活動、体験活動、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実、生徒指導など学校教育活動全体を通じて子どもたちのウェルビューイングの向上を図る。




※ウェルビューイング・・・身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む。



[具体的に取り組む施策]

① 道徳教育の充実

- 各学校において道徳教育の全体計画や指導概要が分かる年間指導計画を作成して、指導体制の充実を図ります。
- 児童生徒の実態に応じた授業や児童生徒の良さを最大限引き出せるように各種研修の充実・改善に努めます。
- 地域や郷土の自然やよさを生かした体験活動やボランティア活動を通して児童生徒の豊かな心を育みます。

【計画期間における数値目標】※1→あてはまる



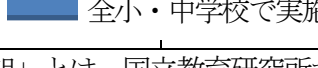

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
道徳科の一単位時間ごとの年間指導計画の作成率	100% 	100%
全国学力・学習状況調査等の児童生徒への質問「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」という質問に対して、1（あてはまる）と回答する児童生徒の割合	小学生 50% 	小学生 90%
	中学生 47.5% 	中学生 90%

全国学力・学習状況調査等の児童生徒への質問「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」という質問に対して、1（あてはまる）と回答する児童生徒の割合	小学生 32%		小学生 90%
	中学生 20%		中学生 90%

② 生徒指導の充実

- 生徒指導に関する研修の充実を図り、各種問題行動（いじめ・不登校等）の未然防止・初期対応・早期解決が図られるように、教職員の指導力の向上に取り組むとともに、全教職員による組織的な指導体制を確立して、発達支持的生徒指導を推進します。
- いじめや不登校などの各種問題行動等に対して、それぞれの学校の実態に即しながら、保護者、スクールカウンセラー（ＳＣ）、スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）等、関係機関と連携しながら対応し、解決に向けて組織的・継続的な支援に努めます。
- 学習指導と生徒指導の一体化を目指すために、「魅力ある学校づくり」の取り組みを推進します。

【計画期間における数値目標】




指標名	現状（令和５年度）	目標（令和１０年度）
生徒指導に関する研修の実施（年３回以上）	年２回 	年３回以上
ＳＣ・ＳＳＷと関係した研修会等の実施（年２回以上）	実施なし 	年２回以上
魅力ある学校づくりの取組	実施なし  全小・中学校で実施 	

※ ここでいう「魅力ある学校づくりの取組」とは、国立教育研究所が作成した「意識調査」を使用して４件法のアンケート調査を行い、調査結果を分析し、発達指示的生徒指導を意識しながら、課題を解決するための具体策を意図的・計画的に実行していく取組のことを指します。

③ 読書活動の推進

- 学校図書館において、図書館司書の配置や蔵書の充実・新規図書購入等も計画・継続的に図ることにより、児童生徒の「本に親しむ」環境の整備に努めます。
- 学校における読書指導の充実を図るために、児童・生徒の目標読書冊数の設定、読書グループ等のボランティア団体による読み聞かせ、家庭や地域と連携・協働した読書活動の推進、更には児童生徒がおすすめ本を発表し評価し合う（ビブリオバトル）等の読書活動を行います。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
学校における読み聞かせ回数	2回 	5回以上
蔵書数の充実	88% 	100%
ビブリオバトル回数	0.67回 	5回以上



※ ビブリオバトル・・・参加者同士で本を紹介し合い、もっとも読みたいと思う本を投票で決定すること。

④ 体力・運動能力の向上

- 児童生徒が運動する機会やファミリースポーツを推進し、いつでも・どこでも・気軽に活動できる環境づくりに努めます。
- 生涯にわたって積極的に体を動かすことやスポーツに親しむ習慣を育むために、レクリエーション活動や各種スポーツイベント等への参加を促進しながら、家庭・学校・地域と連携・協働した体力づくりの取り組みを推進します。
- 教科体育の授業の充実を図るために、体力・運動能力調査結果の分析やそ

の課題解決に向けた取組を充実させるとともに、児童生徒に運動することの楽しさや喜びを味わわせるために、ＩＣＴ機器の活用や外部の人材を招聘した授業を実施します。



【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和５年度）	目標（令和１０年度）
ファミリースポーツ体験	1回 	2回
外部人材を活用した授業	1回 	3回

⑤ 健康教育の充実

- 全教職員が学校保健活動に関心を持ち、学校内の関係組織が十分機能する学校保健の取り組みを推進しながら強化していきます。
- 教職員・保護者・学校医等が連携して児童生徒の健康づくりに取り組む「学校保健委員会」の活動を更に推進します。
- 医師会・歯科医師会・薬剤師会・保健所等の関係機関との連携を深め、学校の学校保健委員会の充実や保健授業・保健指導の充実を図ります。
- 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、がん教育、性に関する教育など、児童生徒の心身の健康課題解決に向けた指導の充実を図ります。
- 虫歯治療率を向上させるために、家庭への呼び掛け等を更に充実させます。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和５年度）	目標（令和１０年度）
心身の健康課題解決に向けた指導の実施		100%
虫歯治療率	50% 	80%

⑥ 人権教育の充実

- 各学校では、人権教育を基盤とした学校運営を実施し、年3回以上の人権教育に係る校内研修を実施します。
- 一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識し、自尊感情を高めるとともに、他者との交流を通して互いの人権を尊重し合う人間関係の構築に努めます。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
校内研修の実施	■ 年3回実施	➡ 年3回以上実施
全国学力・学習状況調査等の児童生徒への質問「自分には、よいところがあると思いますか。」という質問において1（あてはまる）と回答する児童生徒の割合	■ 小学生 30%	➡ 小学生 70%
	■ 中学生 32.5%	➡ 中学生 70%

⑦ 体験活動の推進

- 関係団体・事業所や地域の福祉施設等との連携により、福祉に関する体験活動の充実を図ります。
- 優れた知識・経験・技術を有する人材を学校教育へ活用し、総合的学習の時間や体験活動等を実施する等の取り組みを推進します。




【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
福祉体験活動	■ 実施なし	➡ 全小・中学校で実施
地域の人材の活用	■ 年3回	➡ 年5回

⑧ 食育の推進

- 学校給食において、地場産物の積極的な活用を推進するために、地元生産者や関係機関との連携強化を図ります。
- 児童生徒の食に関する知識や関心を高めるとともに、食や生産者に対する感謝の気持ちや農業についての理解を更に深めるために、給食交流会や食農教育を推進します。
- 地域における生産者農家や食に関する知識・経験を有する人材の積極的活用を推進します。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
地場産物の給食提供	40% 	60%
学校給食交流会（回数）	1. 44回 	2回
食育出前授業（回数）	2. 11回 	3回

- (2) お互いに尊重し合いながら故郷を大切にできる心を持ち、未来を切り開くための能力と確かな学力の向上を伸ばして、社会で自立する力を育む教育の推進

[具体的に取り組む施策]

① 確かな学力の定着

- 学力定着度調査等の結果に基づき、アクションプランを作成するとともにPDCAサイクルを活用しながら成果や課題を分析して計画的・具体的な指導方法の改善を図ります。
- タブレット端末等のICT機器の積極的な活用をすることにより、互いに学び合い・深め合い・高め合うような協働的な学びを推進して、各種検定試験対策や個別的に最適な学習での学力向上を図ります。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
全国・鹿児島学力・学習状況調査各教科通過率	小学校 県平均+6	小学校 県平均+8
	中学校 県平均-2	中学校 県平均+1
全国学力・学習状況調査等の児童生徒への質問「PC・タブレットなどのICT機器を、学習の中で効果的に使用しましたか。」という質問において1（ほぼ毎日）と回答する児童生徒の割合	小学生 40%	小学生 100%
	中学生 12.5%	中学生 100%

② 特別支援教育の推進

- 特別支援教育を更に充実させるために、町教委主催の研修会を実施し教職員の資質向上を図ります。さらに、特別支援教育支援員のより効果的な活用を図るために、特別支援教育支援員を対象とした研修会の実施とその充実を図ります。
- 関係機関と連携した教育相談・知能検査等の実施をし、児童生徒の適切な就学について慎重に審議するとともに、豊かな学びの場について、保護者等への啓発を図ります。



【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
町主催研修会の実施（教員・支援員）	教員対象 年5回 支援員対象年2回	教員対象 年6回 支援員対象年4回
特別支援教育の啓発活動（広報あまぎや学校便り等での情報発信）	3. 22 回	年4回以上

③キャリア教育の推進

- 児童生徒が自己肯定感を高め、将来の目標等に向かって主体的に学習等に取り組むキャリア教育の推進を図ります。
- 児童生徒の発達の段階に応じた段階的・系統的なキャリアを育成するために、小・中学校が連携した研修会を実施し、小・中一貫した指導の充実を図ります。



【計画期間における数値目標】※1→あてはまる

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
全国学力・学習状況調査等の児童生徒への質問で将来の夢や希望・目標を持っていると回答する児童生徒の割合	60% 	80%
小・中連携研修会の実施	6.78回 	年8回以上

④ 幼児教育の推進

- 幼児教育についての理解を深め、幼稚園・保育所・家庭・学校・地域が連携・協働した子育てについての情報共有や、研修の機会を設定するなど、幼児教育を推進する取り組みを充実させます。
- 幼稚園、保育所と小・中学校の更なる連携強化を図るため、園児と児童生徒の交流活動等を積極的に行います。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
保・幼・小連携研修会の実施	年3回 	年3回以上 内容の充実
園児と児童・生徒の交流活動	6.56回 	年7回以上

⑤ 郷土教育の推進

- 自然や文化・伝統に関心をもちながら、ふるさと天城に愛着や誇りがもてる児童生徒の育成と自然環境等の世界的な“価値”に関する学びを継続して行います。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
全国学力・学習状況調査等の児童生徒への質問「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」という質問において1（よく参加している）と回答する児童生徒の割合	小学生 56%	小学生 90%
	中学生 17.5%	中学生 60%

⑥ 情報教育の推進

- タブレット端末等のICT機器を活用した授業の日常化を推進します。そのために、外部人材等を活用した、教職員向けの研修会等を計画的・継続的に実施するとともに、教育効果の高いアプリの導入にも力を入れます。
- 児童生徒や保護者等を対象とし、外部講師等を招聘した情報モラルに関する講話や研修会を実施し、情報モラル教育の更なる推進を図ります。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
ICT研修会の実施	1.89回	年3回以上実施
情報モラル研修会の実施		児童生徒対象 保護者対象100%

⑦ 社会の変化に応じた教育の推進（SDGsの促進）

ア. 環境教育の推進







- 環境教育における、全体計画・年間指導計画に基づいた環境教育の更なる推進・充実を図ります。

- 各集落それぞれの地域の特色を生かした体験的な環境学習の充実を図ります。

イ. 福祉教育・ボランティア活動の推進

- 福祉施設等の団体や関係部署、関係機関との情報交換や連携・協働により、福祉に関する体験活動の充実及び理解の促進を図ります。



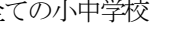



【主要指標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
各学校での体験活動の実施	5.33 回 	10 回 
集落ごとの体験活動の実施		全集落で100%実施 
福祉に関する体験活動の実施	0.78 回 	5 回 

ウ. 国際理解教育の推進

- 各学校への ALT の派遣や ICT 機器を活用したオンラインでの外国との交流活動を推進し、外国の言語や文化に対する理解を深める取り組みを推進し、国際理解教育の充実に努めます。
- 中学生海外派遣事業やまちなか留学、Amagi English Club 等の英語に関する活動を通して、英語を使用してコミュニケーションを図り、異文化に触れたり体験したりすることで学習意欲の向上及び学力向上を図ります。

【主要指標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
オンライン交流活動	 4 校 	全ての小中学校 
Amagi English Club 活動	 1 回 	10 回 

(3) 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進

(子どもを地域全体で守り育てる環境づくりと大人自身の学び)

[具体的に取り組む施策]

① 生涯学習環境の充実

- 社会教育施設（生涯学習推進室、町立図書館、ユイの館）における講座や研修会の内容を充実及び整備に努めます。また、「いつでも・どこでも・誰でも」参加できる学習の成果を生かした地域づくりを推進します。
- 各種講座や指導者・講師、各種イベントなど生涯学習に関する情報を AYT や町広報誌を活用し、積極的に町民に提供します。
- 生涯学習講座・自治公民館講座・自主講座の内容充実を図ることにより、町民への学習機会の提供を推進します。



【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和 5 年度）	目標（令和 10 年度）
生涯学習各種講座数	32 講座	34 講座
各種講座申込数	493 名	550 名
町立図書館利用者人数	9,853 名	12,000 名
ユイの館利用者人数	1,701 名	2,500 名

② 地域ぐるみで子どもの育成

- 休日や学校外活動等の際に、様々な体験活動や学習活動を通して地域住民との幅広い異年齢交流活動等を実施できる取り組みを推進します。
- これからの天城を担う活動の中核となる地域の中学生や高校生のリーダー、大人の指導者を育成するため、社会教育の指導者を育成する研修を計画・実施するとともに、各種研修会への積極的な参加を推進します。



【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
インリーダー・ジュニアリーダー研修会	0人 	30人
指導者育成研修会参加	0人 	12人

③ 家庭の教育力の向上

- 本町の良き伝統である地域社会における人と人とのつながりを大切に
し、「青少年育成の日」や「家庭の日」等の取り組みを生かしながら子育て
等、家庭教育に関する取組を地域全体で更に推進します。
- 成長期に応じた子育てについて、お互いが気軽に相談できる機会等、家
庭教育に関する相談体制の整備を図るとともに適切に対応できる人材の育
成を図ります。
- 幼稚園や保育所における「すくすく共育学級」や小・中学校における
「家庭教育学級」等、子育てに関する学級の開設や家庭教育啓発資料の充実
と情報提供を推進します。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
すくすく共育学級参加率	43% 	80%
家庭教育学級参加率	50% 	80%

(4) 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進

[具体的に取る施策]

① 学校経営の充実と開かれた学校づくり

ア. 学校評価を基にした学校運営のPDCAサイクルの充実

- 「計画（Plan）」、「実行（Do）」、「評価（Check）」、「改善（Action）」
サイクルに基づく学校運営改善の充実を図るため、教職員の自己評価の在り方や学校関係者評価の進め方等について研修会やマニュアルを作成します。

- 学習定着度調査等の結果に基づいて、各学校それぞれがアクションプランを作成・実施しながら成果や課題を把握して計画的・具体的な改善を行える環境を整備するとともに適切な助言・指導強化を図ります。

イ. 家庭・学校・地域の緊密な連携・協働の推進

- 天城町教育文化の町推進会議や教育文化の町各地区（北部・中部・南部・西阿木名）推進協議会の更なる連携を図ります。

ウ. 学校開放事業の推進

- 年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに親しむことのできる「利用しやすい環境づくり」を整備します。
- 利用者・利用団体、地域等、学校・行政が連携しながら、事故防止等の観点も含めて、安全・安心確保のための体制づくりを強化します。

エ. 小規模・複式校教育の充実

- 地域や学校の実態に応じた研修会や授業及び特色ある教育課程の改善・充実を図ります。
- 全ての子供たちの可能性を引き出す個別的に最適な学びと協働的な学びを実施し、教育の質の向上を図ります。



オ. 特性を生かした学習指導の工夫・改善

- 地域の豊かな環境を生かした体験活動等を通して、学ぶことの楽しさや何かを達成した時の喜びを感じることができるようにします。また、郷土の良さを知り、理解し、愛する心を培います。

カ. 集合学習、学校間交流（小小連携・小中連携等）の充実

- 学校同士が相互に連携を図り、積極的に交流を深めることによって、児童生徒の学校生活をより深く・豊かにするとともに、様々な人間関係や経験を広げる等、広い視野に立った教育活動を推進します。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
地域学校協働活動	7.56回 	10回
学校間交流回数（全小中学校）	1回 	3回以上


(5) 郷土の教育的な伝統や世界に誇れる豊かな自然・風土の活用と未来への継承

[具体的に取り組む施策]

① 文化芸術活動の促進、未来への継承

- 児童生徒が様々な文化芸術に親しむとともに、町民一人ひとりが生涯を通じて文化芸術を身近に触れて、楽しめるような環境の整備に努めます。



【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
芸術鑑賞機会の提供	1回 	1回以上

② 地域文化の発展、未来への継承

- 地域の文化や伝統芸能・伝統行事等に触れる機会を増やし、子どもたちの参加を促進するとともに、地域の高齢者や様々な人材活用をしながらシマグチの継承を図ります。
- 様々な文化事業やシンポジウム等を開催し、郷土の歴史や文化への関心を高め、郷土に誇りを持てる心の醸成を推進します。



【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
シマグチの継承活動等の実施		年5回以上
文化事業等への参加者の増加		120%増

③ 文化財の発掘・保存・活用、未来への継承

- ユイの館において、文化財や地域の歴史、自然等に関する学習機会（世界自然遺産学習・あまぎ学）を提供して、文化財愛護思想の普及・啓発を図ります。
- 文化財の保存・継承活動の活動事例や取組事例・研究結果報告等の情報を提供し、活動の活性化を図るとともに、地域の文化財を活用した地域づくりを促進します。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
学習機会の提供		年5回以上
活動事例・取り組み事例等の提供		年5回以上

④ 生涯スポーツの推進

- 各種スポーツ指導者養成講座へ積極的に派遣して、町民の求める質の高い指導者の養成を図ります。
- 町広報誌やホームページを活用してスポーツ情報の提供に努めて、スポーツ活動の普及・啓発を図ります。
- 学校体育施設や社会体育施設等、施設の利用促進を図るとともに、B&G海洋センター各施設及び町総合運動公園の更なる活用の充実に努めます。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
海洋センター体育館利用者数	10,517名	12,000名
海洋センタープール利用者数	5,640名	8,000名
海洋センター艇庫利用者数	2,642名	4,000名

⑤ 競技スポーツの推進

- 小・中・高校生の選手育成及び強化を図るために、スポーツ合宿時の外部指導者等を活用したスポーツ活動の活性化に努めます。
- 地区大会・県外大会への参加助成（派遣助成）の充実に図ることにより、部活動や各競技団体の強化並びに青少年の健全育成を図ります。

【計画期間における数値目標】

指標名	現状（令和5年度）	目標（令和10年度）
外部指導者の活用	1回	2回以上
国民体育大会への選手派遣	0名	1名以上

◎ 計画の進捗状況の確認

この計画を効果的かつ着実に実施するためには、定期的な点検とその結果のフィードバックを行い、施策に反映していくことが不可欠です。5年間に取り組む施策等について盛り込んでいますが、計画期間中に対応すべき新たな課題が生じるなど、計画の見直しが必要となった場合には、計画途中においても見直しを行い、改訂します。